

2021年3月期

決算説明会資料

2021年5月26日



目次

1 – 2021年3月期 決算結果 …… P2

2 – 2022年3月期 業績見通し …… P5

3 – 2021年3月期 主な完成工事 …… P8

4 – 中期経営計画1年目の振り返り

① – 概況説明 …… P11

② – 国内土木 …… P13

③ – 国内建築 …… P17

④ – 海外 …… P20

⑤ – 経営基盤の強化 …… P22

⑥ – 投資実績と今後の方針 …… P24

⑦ – ESG行動計画 …… P25

1 - 1 2021年3月期 決算結果

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期				対前期増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注高	-	2,076	-		2,487	19.8%		411
売上高	1,902	1,818	1,897	△ 0.3%	1,807	△ 0.6%	△ 5	△ 11
売上総利益	194	173	197	1.6%	174	0.3%	3	0
売上総利益率	10.2%	9.5%	10.4%		9.6%		0.2	0.1
一般管理費	114	104	110	△ 3.9%	101	△ 3.5%	△ 4	△ 3
一般管理比率	6.0%	5.8%	5.8%		5.6%		△ 0.2	△ 0.2
営業利益	79	68	87	9.5%	72	6.0%	7	4
営業外収益	3	3	10	161.9%	10	163.9%	6	6
営業外費用	7	6	4	△ 35.7%	4	△ 30.3%	△ 2	△ 2
経常利益	76	65	92	21.6%	78	18.9%	16	12
特別利益	3	3	14	328.3%	14	336.3%	11	11
特別損失	3	3	5	41.5%	3	△ 9.6%	1	△ 0
税引前利益	75	65	101	34.3%	89	36.5%	26	23
当期純利益	50	44	68	37.0%	61	37.1%	18	16

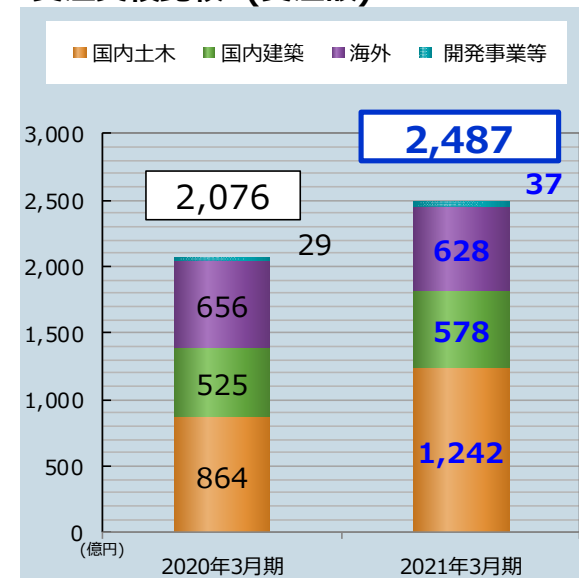
※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

純資産	691	619	761	10.1%	660	6.6%	70	41
R O E	7.3%	7.2%	9.5%		9.5%		2.2	2.3

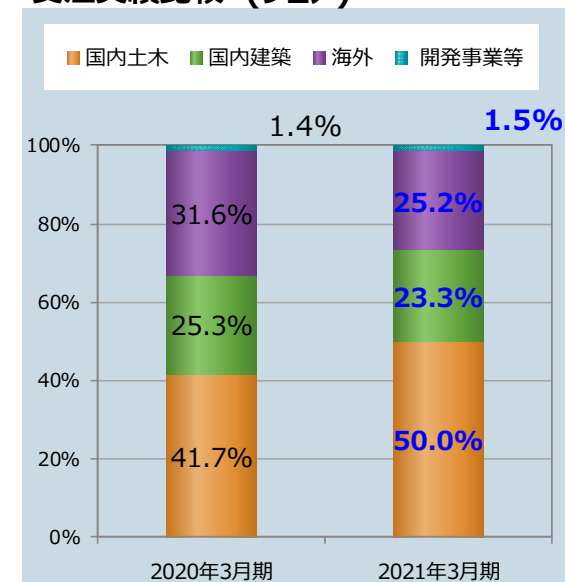
1 - 2 事業分野別 受注実績（単体）

受注高 (単位：億円)		2020年3月期	2021年3月期	
		実績	実績	前期比
国内土木	官庁	642	913	42.1%
	民間	221	328	48.6%
	国内土木 計	864	1,242	43.8%
国内建築	官庁	45	40	△11.9%
	民間	479	538	12.2%
	国内建築 計	525	578	10.1%
国内計		1,389	1,821	31.0%
海外	土木	656	625	△4.8%
	建築	0	2	-
	海外 計	656	628	△4.4%
建設事業計	土木	1,521	1,868	22.8%
	建築	525	581	10.6%
建設事業計		2,046	2,449	19.7%
開発事業等		29	37	27.5%
合 計		2,076	2,487	19.8%

受注実績比較（受注額）



受注実績比較（シェア）

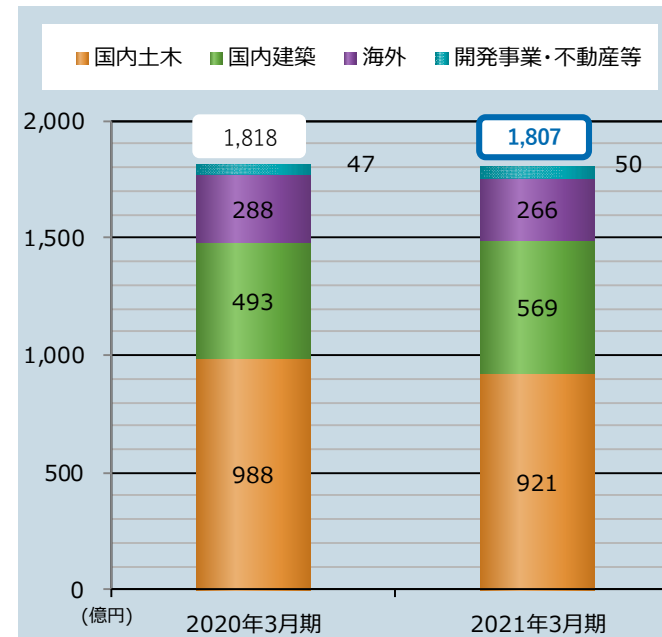


1 - 3 事業分野別 売上高・損益実績（単体）

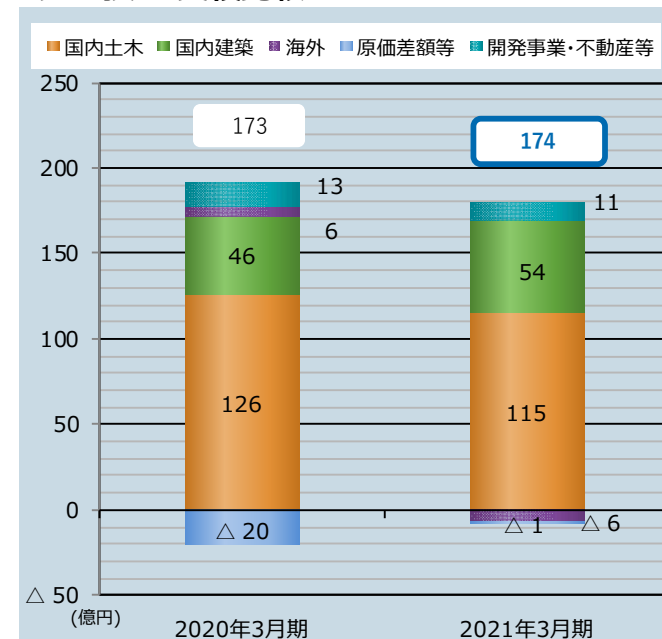
（単位：上段-億円／下段-% -ポイント）

上段：売上高 下段：売上損益 利益率		2020年3月期		2021年3月期	
		実績		実績	前期比
国内土木		988		921	△6.8%
		126	12.8%	115	12.5% △8.6% △ 0.3
国内建築		493		569	15.3%
		46	9.5%	54	9.7% 17.1% 0.2
国内計		1,482		1,490	0.6%
		173	11.7%	170	11.4% △1.7% △ 0.3
海外	土木	279		265	△5.3%
	建築	8		1	△86.1%
	売上計	288		266	△7.7%
		6	2.4%	△ 6	△2.3% - △ 4.7
建設事業	土木	1,268		1,186	△6.5%
	建築	502		570	13.5%
	売上計	1,770		1,756	△0.8%
	(原価差額等)	△ 20		△ 1	
開発事業等		159	9.0%	162	9.2% 1.6% 0.2
		29		37	28.9%
不動産等		5	20.6%	6	16.8% 4.9% △ 3.8
		18		13	△29.9%
合 計		7	42.3%	5	42.5% △29.6% 0.2
		1,818		1,807	△0.6%
		173	9.5%	174	9.6% 0.3% 0.1

売上高 実績比較



売上損益 実績比較



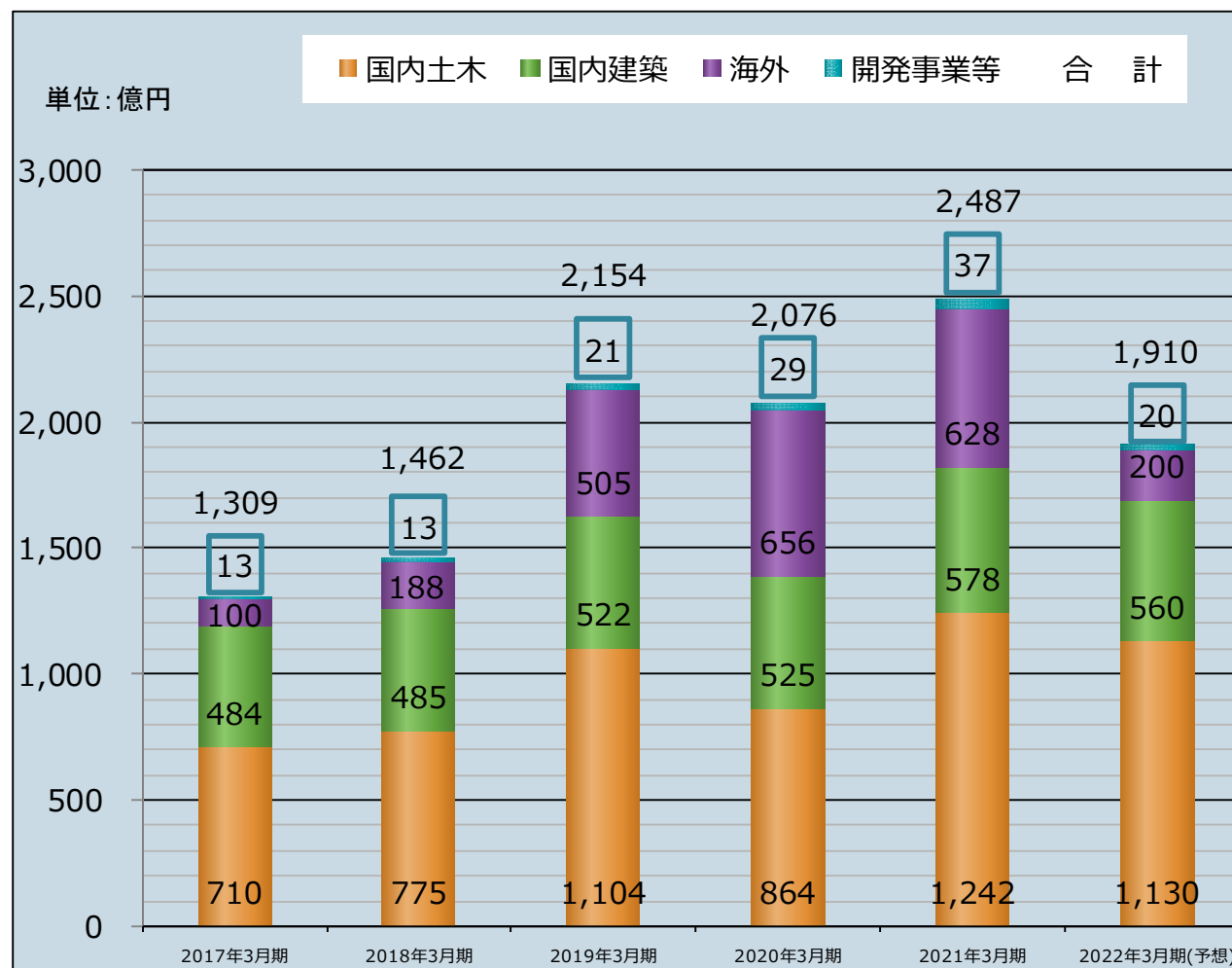
2 - 1 2022年3月期 業績見通し

(単位：億円)	2021年3月期実績		2022年3月期見通し				対前期比増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注高	-	2,487	-		1,910	△ 23.2%		△ 577
売上高	1,897	1,807	2,230	17.5%	2,150	19.0%	332	342
売上総利益	197	174	203	2.9%	187	7.4%	5	12
売上総利益率	10.4%	9.6%	9.1%		8.7%		△ 1.3	△ 0.9
一般管理費	110	101	113	2.6%	103	1.9%	2	1
一般管理比率	5.8%	5.6%	5.1%		4.8%		△ 0.7	△ 0.8
営業利益	87	72	90	3.3%	84	15.2%	2	11
営業外収益	10	10	2	△ 80.1%	2	△ 75.0%	△ 8	△ 7
営業外費用	4	4	5	5.6%	5	14.1%	0	0
経常利益	92	78	87	△ 5.9%	81	3.7%	△ 5	2
特別利益	14	14	1	△ 93.1%	1	△ 93.1%	△ 13	△ 13
特別損失	5	3	1	△ 80.7%	1	△ 68.4%	△ 4	△ 2
税引前利益	101	89	87	△ 14.5%	81	△ 9.5%	△ 14	△ 8
当期純利益 ※	68	61	60	△ 12.5%	56	△ 8.2%	△ 8	△ 5

※ 連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

2-2 事業分野別 受注見通し（単体）

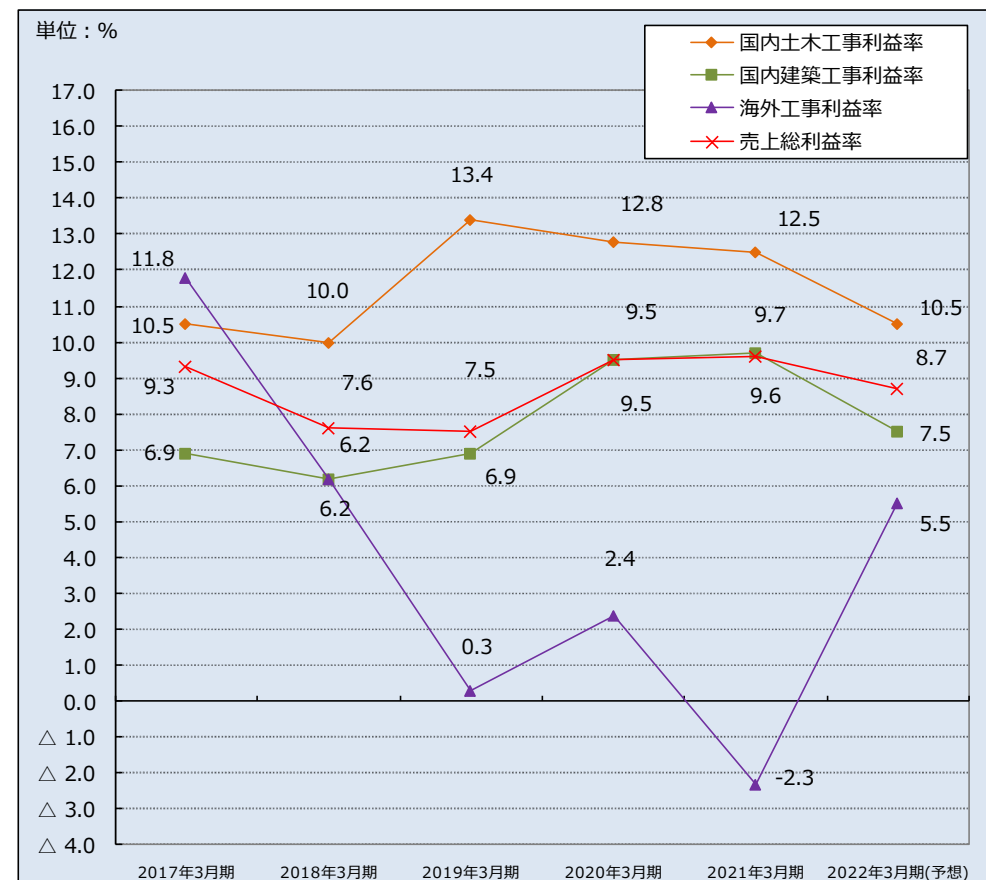
受注高 (単位：億円)		2021年3月期	2022年3月期	
		実績	見通し	前期比
国内土木	官庁	913	915	0.1%
	民間	328	215	△34.6%
	国内土木 計	1,242	1,130	△9.1%
国内建築	官庁	40	90	122.3%
	民間	538	470	△12.7%
	国内建築 計	578	560	△3.2%
国内計		1,821	1,690	△7.2%
海外	土木	625	188	△69.9%
	建築	2	12	336.0%
	海外 計	628	200	△68.2%
建設事業計	土木	1,868	1,318	△29.5%
	建築	581	572	△1.6%
	建設事業計	2,449	1,890	△22.8%
開発事業等		37	20	△47.0%
合 計		2,487	1,910	△23.2%



2-3 事業分野別 売上高・損益見通し（単体）

（単位：上段-億円／下段-% -ポイント）

上段：売上高 下段：売上損益 利益率		2021年3月期		2022年3月期	
		実績		見通し	前期比
国内土木		921		1,104	19.8%
		115	12.5%	115	10.5% 0.1% △ 2.0
国内建築		569		548	△ 3.7%
		54	9.7%	40	7.5% △ 25.6% △ 2.2
国内計		1,490		1,652	10.8%
		170	11.4%	156	9.5% △ 8.2% △ 1.9
海外	土木	265		458	72.8%
	建築	1		4	227.2%
	売上計	266		462	73.5%
		△ 6	△ 2.3%	25	5.5% - 7.8
建設事業	土木	1,186		1,562	31.7%
	建築	570		552	△ 3.2%
	売上計	1,756		2,114	20.3%
	(原価差額等)	△ 1		△ 3	
開発事業等		162		178	8.5% 10.2% △ 0.7
		9.2%			
合 計		50		36	△ 28.9%
		11	23.5%	8	23.1% △ 30.2% △ 0.4
合 計		1,807		2,150	19.0%
		174	9.6%	187	8.7% 7.4% △ 0.9



3-1 2021年3月期 主な完成工事【土木】

東京都江東区に、海底トンネルが完成



工事名 東京港海の森トンネル 建設事業

発注者 国土交通省関東地方整備局

工期 2016年4月～2020年7月

岩手県九戸郡に、復興道路が完成



工事名 国道45号 坂ノ下地区道路改良工事

発注者 国土交通省東北地方整備局

工期 2018年1月～2020年11月

3-1 2021年3月期 主な完成工事【建築】

神奈川県横浜市に、冷凍冷蔵倉庫・研修施設が完成



工事名 (仮称)横浜冷凍株式会社子安物流センター新築計画

発注者 横浜冷凍(株)

工期 2019年6月～2020年4月

石川県小松市に、木造ホテルが完成



工事名 (仮称)小松ホテル新築工事

発注者 H.I.S.ホテルホールディングス(株)

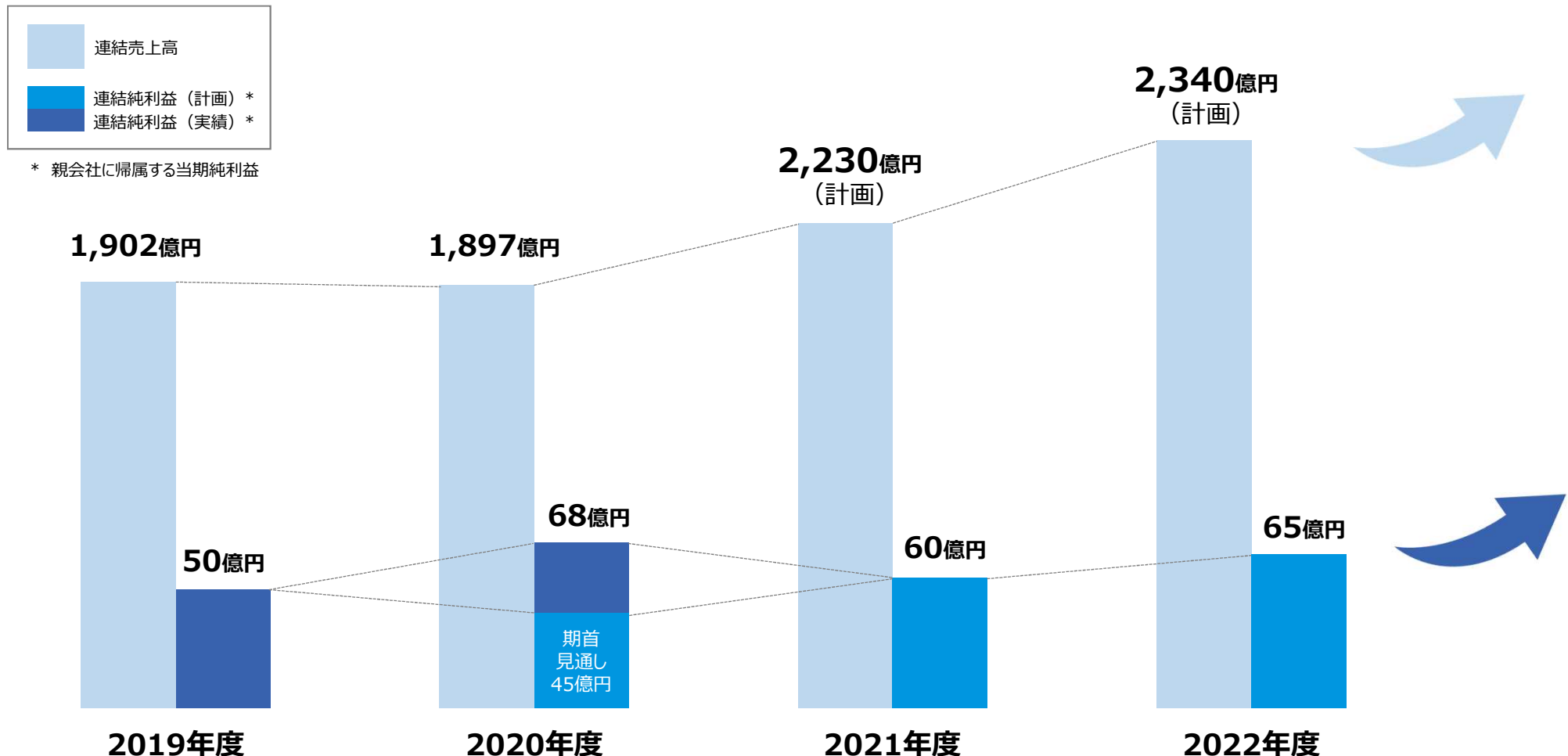
工期 2019年10月～2020年9月

中期経営計画 1 年目の振り返り

中期経営計画 1 年目の振り返り① 連結売上高と当期純利益の推移

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大による海外での工事中断の影響もあり、約5億円の減収となりましたが、当期純利益*は18億円の増益となりました。

2021年度は海外の中断工事は、ほぼすべて再開し、また国内土木の施工高も大きく伸びることから、売上高は2,230億円に増加し、当期純利益*は60億円となる見込みです。中期経営計画を着実に遂行しながら、成長を続けてまいります。



中期経営計画 1 年目の振り返り② 全体の概要

国内土木

- 受注実績と2021年度の展望
- 重点施策の取り組み状況
 - ① 現場におけるICT活用
 - ② 波浪予測の精度向上に向けたAI研究

国内建築

- 受注実績と2021年度の展望
- 重点施策の取り組み状況
 - ① 冷凍冷蔵倉庫分野での差別化の推進
 - ② BIMも含めたICTの活用

海外

- 受注実績と2021年度の展望
- 手持高・売上高の推移と工事再開状況

経営基盤の強化

- 資本政策
2020年度の取り組み結果と2021年度以降の資本政策に関わる
取り組み方針
- 人事制度の改定

ESG行動計画

- 環境分野に対する取り組みとKPIの設定
・洋上風力発電事業への参画の推進
- 社会分野に対する主な取り組みとKPIの設定
・開発途上国におけるインフラ整備プロジェクトへの参画
- ガバナンス分野、特に不祥事の再発防止への取り組み

国内土木① 受注実績と2021年度の展望

2020年度は港湾・海洋分野で700億円を超え、陸上分野も540億円に拡大、国内土木としては1,242億円の受注を達成。
2021年度も1,130億円の受注を目指します。

国内土木事業 受注推移

(億円)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 計画
工種別	港湾・海洋土木	490	524	579	693	701	1,130
	陸上土木	220	250	525	170	540	
官民別	官公庁	525	524	893	642	913	
	民間	184	250	211	221	328	
国内土木計		710	775	1,104	864	1,242	

国内土木 受注工事

工事名	発注者名	施工形態	契約工期 (自～至)	
横浜港新本牧地区岸壁 (-18m) (耐震) 築造工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2021年3月	2022年3月
東京国際空港多摩川護岸改良工事	国土交通省関東地方整備局	単独	2021年2月	2022年2月
神戸港第五防波堤撤去等工事	国土交通省近畿地方整備局	JV	2020年11月	2021年10月
東北自動車道 菅生スマートインターチェンジ工事	東日本高速道路(株) 東北支社	単独	2020年6月	2022年7月
(仮称) 神戸市北区東岡場地区プロジェクト造成工事	神戸ロジスティクス特定目的会社	単独	2020年11月	2023年5月

国内土木② 重点施策の取り組み状況 現場におけるICTの活用（１）

作業船の省力化、不可視部分の可視化、BIM/CIMモデルの自動出力など現場で積極的にICTを活用しています。

名古屋港金城ふ頭岸壁（-12m）
地盤改良工事で使用した深層混合
処理船
「黄鶴」において①～③に取り組み、
「令和2年度 i-Construction
大賞 優秀賞」を受賞



○深層混合処理船「黄鶴」
1サイクル当たりの改良面積=5.47m²で水面下52mまで改良でき、陸上の地盤改良工事用施工
機械（改良面積=1.5m²、適用深度=45m）の3倍以上の施工能力を有する。

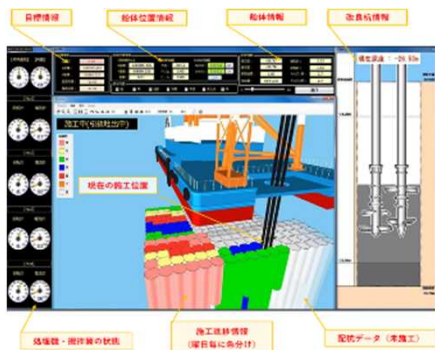
① オペレータのノウハウをプログラミング化し、 セメントスラリーの製造および改良作業を完全自動化



WEBカメラによる設備監視画面モニター

- オペレーターの省人化
- 自動化により品質が安定
など

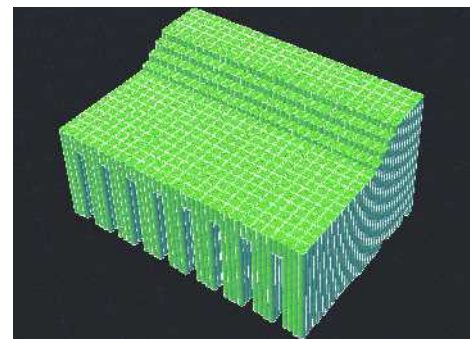
② 3Dモデルに、作業船から得られる施工情報を取込み、 不可視部分をリアルタイムに3D描画して可視化



3D施工管理システム画面表示例

- 施工済データの確認もできる
ため、トレーサビリティが向上
- ネットワークを介して発注者と
も情報を共有
など

③ 出来形管理帳票や改良体のBIM/CIMモデルを自動出力



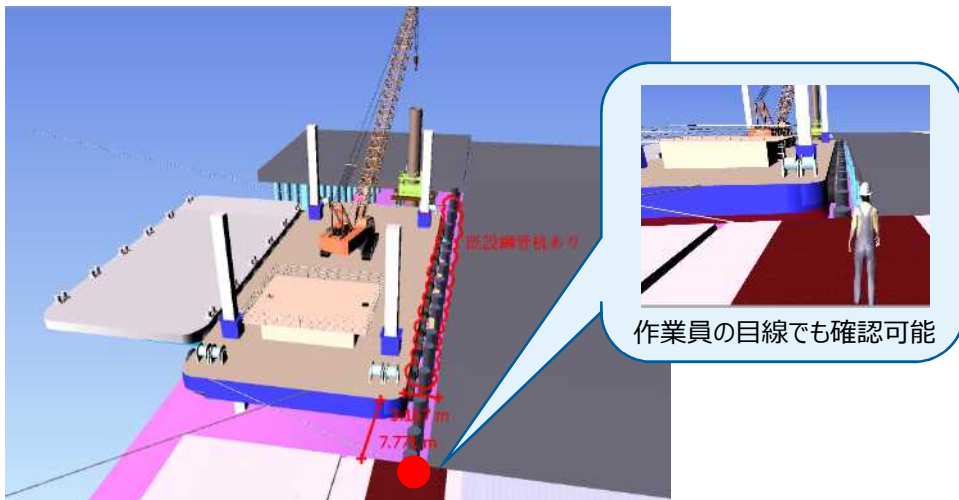
3D施工管理システム画面表示例

- 帳票作成時のデータ転記ミス
などを防止
- 施工管理や書類作成等の
作成時間を80%削減
など

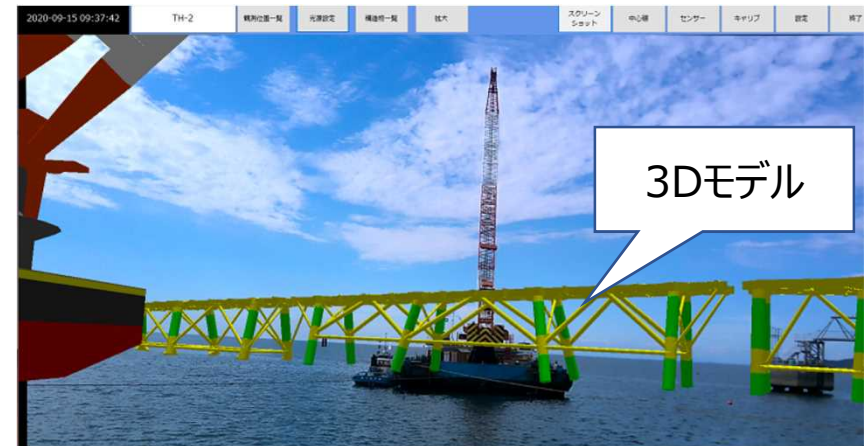
国内土木③ 重点施策の取り組み状況 現場におけるICTの活用（２）

BIM/CIM、AR（拡張現実）、VR（仮想現実）によって安全性・施工性を向上させるとともに、クラウドを用いて関係者で情報を共有し、現場支援に活用しています。

BIM/CIMモデルを用いた配船計画



AR（拡張現実）を用いた施工検討



現場のタブレットPCの中で、現地の映像と3Dモデルを重ねて表示

クラウドを用いた工事進捗情報の共有

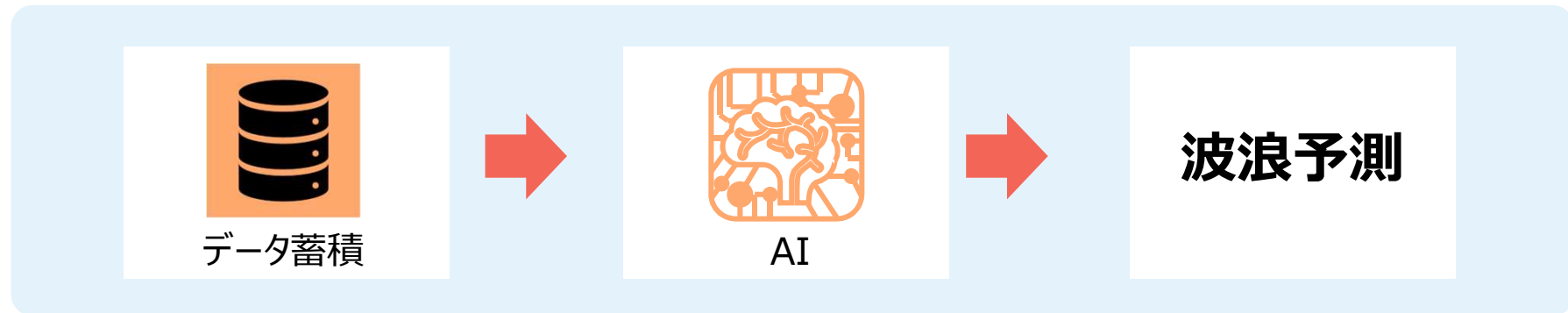


VR（仮想現実）による安全教育



国内土木④ 重点施策の取り組み状況 波浪予測の精度向上に向けたAI研究

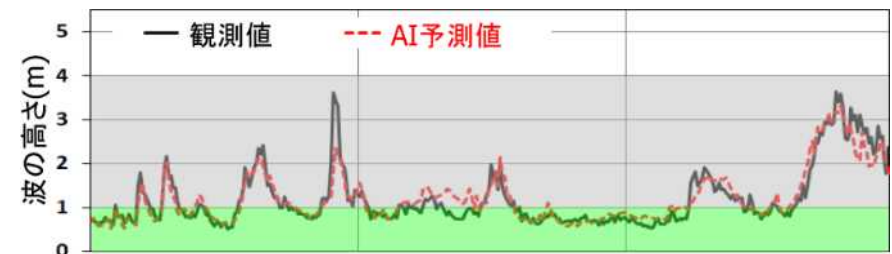
従来、気象予報を基に対象海域の波浪予測を行っていましたが、AIによって精度が高い波浪予測ができないか研究を進めており、近い将来の現場適用を目指し、データの蓄積を進めています。



2020年 日本港湾協会論文賞 受賞 「全球波浪予報値とAIによる1週間波浪予測法」



AI技術



巨大な作業船を使用する港湾工事においては、波が高い場合工事ができないので、数時間から数日先の波浪を予測することが施工にあたって極めて重要です。

当社では、誰でも「波を読む（緑色が作業できる波の高さ）」ことができるようにするため、AIを用いて精度の高い波浪予測技術の研究を行っています。

国内建築① 受注実績と2021年度の展望

2020年度は倉庫・物流施設、住宅、PFIといった得意分野で受注を伸ばしただけでなく、病院や中央官庁案件の受注にも成功し、多様化を図りながら前期比10%増の578億円の受注を達成しました。

2021年度は560億円の受注を目指します。

国内建築事業 受注推移

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 計画
用途別	倉庫・物流施設	136	150	131	297	244	560
	住宅	217	174	125	91	224	
	その他	130	160	265	136	109	
官民別	官庁	22	25	91	45	40	
	民間	461	460	430	479	538	
国内建築計		484	485	522	525	578	

PFI

PFI事業においては、斎場・給食センターでは建設会社としてトップの実績を保有

斎場
給食センター

国内事例

19
78

当社参画事業※

5
14

2020年度に選定された事業
斎場1件、給食センター4件

国内建築 受注工事

工事名	発注者名	施工形態	契約工期（自～至）	
(仮称)隅田冷凍 東扇島冷蔵庫 新築工事	隅田冷凍不動産(株)	単独	2020年10月	2022年3月
板橋区大山町53計画新築工事	三菱地所レジデンス(株)・三菱倉庫(株)	単独	2020年12月	2023年12月
(仮称) 特別養護老人ホーム市崎の杜新築工事	(福) 七日会	単独	2020年12月	2021年12月
医療法人社団慈生会松山城東病院建替え工事	(医) 慈生会	JV	2020年11月	2023年4月
厚木市学校給食センター整備運営事業	神奈川県厚木市	JV	2021年7月	2022年6月

国内建築② 重点施策の取り組み状況 冷凍冷蔵倉庫分野での差別化の推進

冷凍冷蔵倉庫に関するお客様の悩みを、当社の保有する豊富な経験とノウハウ・差別化された技術で解決していきます。

豊富な経験とノウハウでソリューションを提供

冷蔵倉庫に関しての お客様のお悩み

- ・冷蔵倉庫を新築したい
- ・冷蔵倉庫の省エネを図りたい
- ・普通倉庫（ドライ）から冷蔵倉庫に改修したい
- ・冷蔵倉庫の耐震補強をしたい
- ・冷蔵倉庫を使いながら各種改修をしたい

お客様の
お悩みに
適切な
ソリューション
を提供

東日本大震災でも
荷崩れしなかった
という事実根付く
お客様からの信頼

豊富な施工実績

蓄積されたノウハウ

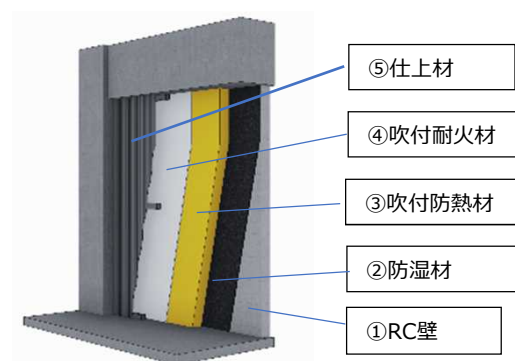
更に広くニーズに対応

冷蔵倉庫の相談室

2021年2月新設

冷凍冷蔵倉庫分野での技術の差別化の推進

冷凍冷蔵倉庫向けの防熱耐火パネルで1時間耐火構造壁・
30分耐火構造壁の国土交通大臣認定を取得



従来工法 (5工程)



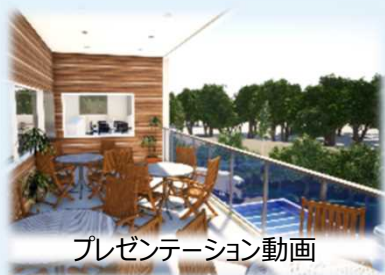
防熱耐火パネル (1工程)

更なる差別化を図るため
その他の工法も開発中です

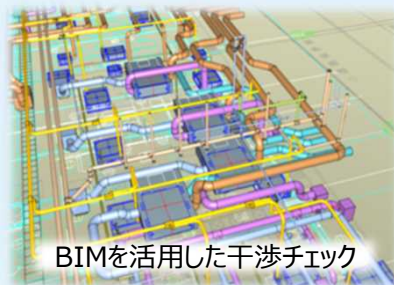
国内建築③ 重点施策の取り組み BIMも含めたICTの活用

顧客対応、施工支援にBIMを活用するとともに、企画段階から一貫したデータを引き継ぎながら効率的に生産性を向上させています。また、BIM以外でも現場で積極的にICTを活用し、生産性・安全性の向上につとめています。

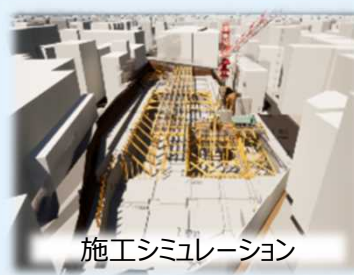
顧客に対する BIM活用



プレゼンテーション動画



BIMを活用した干渉チェック



施工シミュレーション

(従来)
プロジェクトのフェーズが移るたびに新たにデータを
作成し、担当者相互間のデータ整合性を確認



仕上げ確認（合意形成）

企画～設計～施工まで一貫した
BIMデータを利用することで情報の
引き継ぎをより短時間で正確に実施可能に

現場でのICT活用



本社から遠隔配筋検査



現場社員によるドローン空撮



電子ホワイトボードによる調整会議



大型サイネージを現場朝礼で活用

海外① 受注実績と2021年度の展望

2020年度は628億円の受注を達成し、3期連続で500億円を超えることができました。

2021年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、発注が遅れている案件も多い状況ですが、200億円の受注を目指します。

海外事業 受注推移

(億円)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 計画
地域別	東南アジア	▲8	46	454	268	146	200
	南アジア	0	0	0	267	1	
	中東	60	0	12	31	5	
	アフリカ	43	137	26	88	475	
	その他	4	5	12	0	0	
海外事業計		100	188	505	656	628	

海外受注工事

工事名	発注者名	契約工期（自～至）	
ナミベ湾包括開発プロジェクト	アンゴラ共和国運輸省	2021年8月	2024年6月（予定）

今年度発注が遅れている案件についても2022年度以降の受注を目指し営業活動を強化していきます。

港湾土木工事だけでなく、社会・地域状況の変化に対応して工種の多様化（橋梁、治水、上下水道）を推進し、建築分野への取り組みも強化していきます。

海外② 手持高・売上高の推移と工事再開状況

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、工事中断や着工遅れを余儀なくされる現場が多く、売上高が266億円にとどまりましたが、2020年度下半期以降、施工高は着実に伸びてきています。

2021年度はほぼすべての現場が稼働していることから5年ぶりに400億円を超える売上高462億円を計画しています。

i) 海外事業の受注高・売上高・手持高推移

(億円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 売上高
受注高	790	119	100	188	505	656	628	
売上高	406	486	289	230	195	288	266	462
手持高	895	528	339	298	607	976	1,338	

ii) 2020年度の期間別売上高と新型コロナウイルスの感染拡大に伴う工事中断・着工遅れ等の状況

四半期期間売上高



2020年度の実績結果

■ 資本効率の向上、株主還元強化

・ROE

	連結	単体
2020年度	9.5%	9.5%
2019年度	7.3%	7.2%

・自己株式取得

20億円の自己株式取得を決定
2020年度中に12億円を取得

・配当

	1株当たり 配当	配当性向	
		連結	単体
2020年度	80円	22.8%	26.0%
2019年度	50円	20.4%	23.4%

■ 資金効率性の改善

・手元現預金（連結）

2020年度 323億、現預金月商比率 2.04
2019年度 437億、現預金月商比率 2.76

■ 政策保有株式

上場有価証券15銘柄を売却

2021年度以降の資本政策に関する取り組み方針

長期的な視点に基づく、企業価値向上に資する以下の取り組みを行います。

■ 資本生産性の向上と成長投資

将来の成長に向けた投資を計画的に行うとともに収益性の改善に取り組み、ROEについては8.0%以上（単体）を継続することを目標として、資本生産性の向上を目指します。

■ 安定かつ充実した株主還元

配当性向目標を20～30%（単体）に設定して配当を行うとともに、機動的に自己株式取得を行い、安定かつ充実した株主還元を行ってまいります。

■ 安定した財務基盤の構築

事業環境の急激な変化、成長に伴う事業リスクに耐え得る安定した財務基盤構築に継続的に取り組みます。

■ 資金効率性の向上

資金管理にあたっては安全性を最優先としますが、資金効率の向上にも取り組みます。

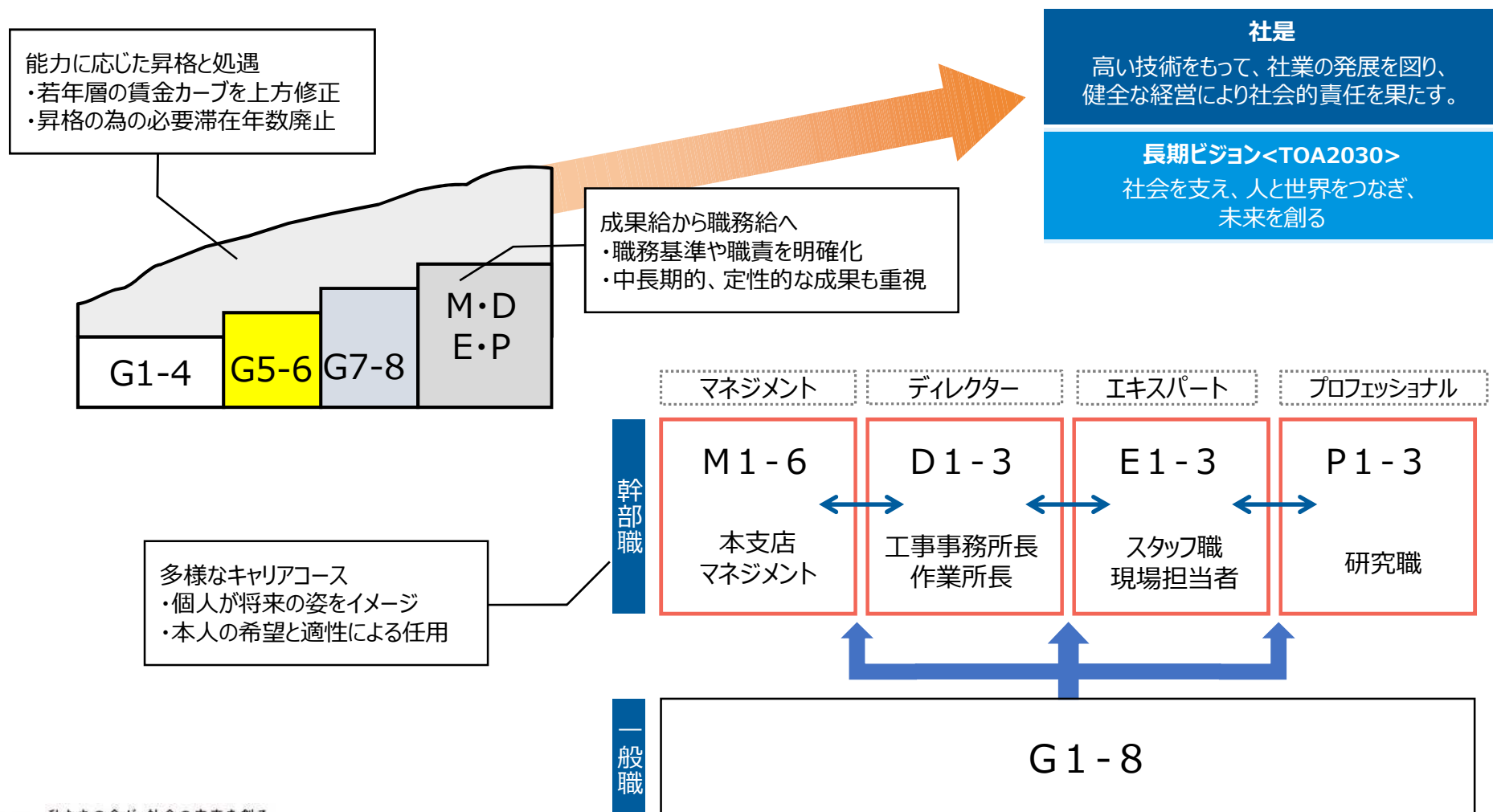
■ 政策保有株式の適正な管理、縮減

保有株式については毎年定期的に資本コストを精査するとともに、当該企業との取引関係・保有の経緯等を検証しており、継続保有の合理性が認められない銘柄については適宜売却の手続きを進めます。

経営基盤の強化② 人事制度の改定

2021年3月に、人事制度の根幹となる職能資格等級制度を見直し、社員にとって、やりがいやモチベーション向上につながる人事制度に改訂しました。

また、各職務の基準や職責を明確に示し、中長期的・定性的な成果も重視した評価を実施することで、経営理念に基づいた思考・判断の重要性に意識を向けることも目的としています。



投資実績と今後の方針

2020年度はSEPの建造など約70億円の投資を実施しました。

2021年度以降はSEPへの投資だけでなく、横浜市安善にある当社技術研究開発センターの2期工事等の将来の研究開発に向けた投資や、人財投資、デジタル化への投資などを実施していく予定です。

投資項目	内容	2020年度 投資額
船舶	SEP建造 (2018年建造開始・能力増強決定)	20億
船舶	ポンプ浚渫船「第三亜細亜丸」 リニューアル	11億
船舶	固化処理船「扇鶴」の建造	10億
機械設備	機械設備関係	20億
その他	ソフトウェア等	9億
合計		70億



SEP完成イメージ図



ポンプ浚渫船「第三亜細亜丸」



固化処理船「扇鶴」

ESG行動計画① 環境分野に対する取り組みとKPIの設定

2021年4月にCSR推進部をESG推進部に名称変更し、推進体制を明確化した上で重要課題の解決に向けたKPIを設定し、2021年5月24日に公表しました。環境分野では洋上風力だけでなく、建築でも環境負荷の低減に向けKPIを設定しています。

重要課題	重要指標（KPI）	達成目標
環境負荷の低減	EPC事業者として参画する洋上風力発電事業の総発電設備容量 （※EPC契約をもって参画とする）	600MW以上（2024年度）
	建築：設計施工案件でBELS評価5☆の案件数の割合	50%以上
	建築：設計施工案件でZEB ReadyまたはCASBEE：Aランク以上	3件以上
	環境負荷低減に資する研究開発の実施件数	9件以上（2020年度参考値）
建設廃棄物の削減 と再利用促進	循環社会実現に資する研究開発の実施件数	4件以上（2020年度参考値）
	建設廃棄物のリサイクル率	96%以上
環境に配慮した施工	CO ₂ 排出量削減率（1990年度比，施工高当たりの原単位）	20%以上（2021年度） 30%以上（2030年度）
	環境事故の発生件数	0件

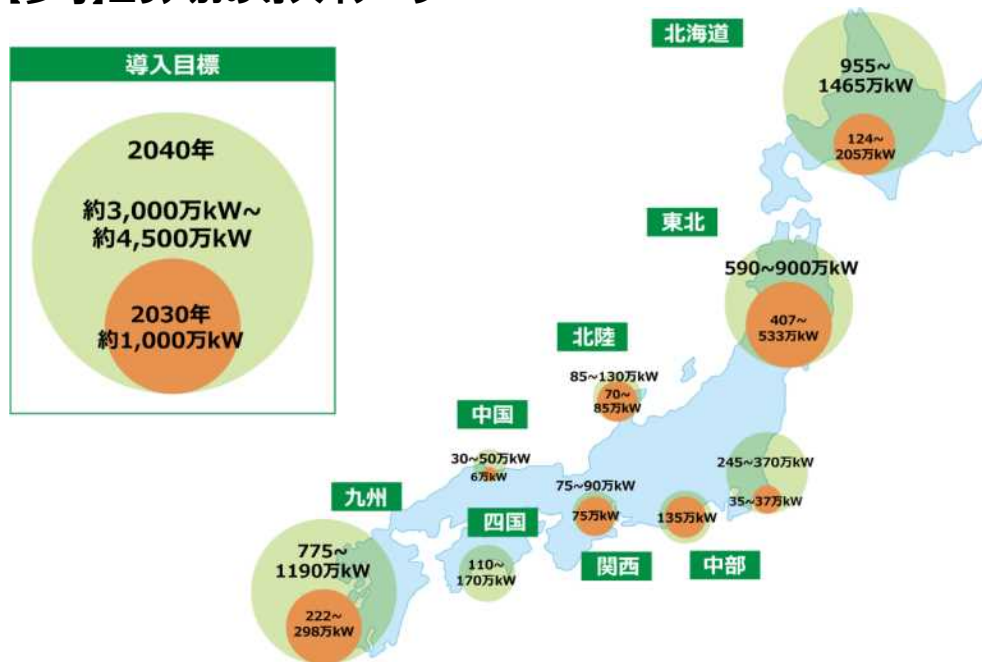
ESG行動計画② 洋上風力発電事業への参画の推進（１）

2050年にカーボンニュートラルゼロを目指す動きの中で、洋上風力発電は重要な位置づけとなっており、政府は2030年までに原発10基分に相当する10GWの導入を目指しており、事業者選定などの動きも急速に進展しつつあります。

洋上風力発電の政府導入目標

2030年までに10GW
2040年までに30～45GWの導入を目標に

【参考】エリア別の導入イメージ



出典：洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会
「洋上風力産業ビジョン（第1次）」（経済産業省）資料による

再エネ海域利用法の施行状況

促進区域第1号で事業者公募締め切り

① 長崎県五島市沖
2020年12月末に事業者公募締切

その他の促進区域も進行中

- ② 秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖
- ③ 秋田県由利本荘市沖（北側・南側）
- ④ 千葉県銚子市沖

事業者公募開始	2020/11/27
応募締め切り	2021/ 5/27
事業者決定	2021/11頃

ESG行動計画② 洋上風力発電事業への参画の推進（２）

当社はEPC事業者として2024年度までに総発電設備容量600MW以上に参画することを目指しています。
現在進行中の基地港の整備にも積極的に取り組みます。

将来のEPC参画を目指す当社の取り組み

- ① SEP建造、能力増強
(2023年4月完成予定)



SEP完成イメージ

- ② EPC（設計・調達・建設）事業者として洋上風力発電事業参入の為の営業活動

→2024年度までに大林組とのパートナーシップの下、
総発電設備容量600MW以上への参画を目指します。

- ③ 国内外の技術動向に関する情報収集、研究開発を進め、
合理的な施工方法を確立していきます。
- ④ SEPを活用した施工のための人材育成

基地港整備事業にも積極的に参画

基地港として全国4か所が指定され、大型風車の設置・維持管理に必要な地耐力強化等の整備が進行中であり、基地港整備工事の受注に向けても積極的に取り組んでいます。

- ① 秋田港
整備施設：岸壁(地耐力強化)
事業期間：2019年度～2020年度
- ② 能代港
整備施設：岸壁(水深10m(暫定))、(地耐力強化)、
泊地(水深10m(暫定))
事業期間：2019年度～2023年度
- ③ 鹿島港
整備施設：岸壁(水深12m)、(地耐力強化)、
航路・泊地(水深12m)、泊地(水深12m)
事業期間：2020年度～2023年度
- ④ 北九州港
整備施設：岸壁(水深10m(暫定))、(地耐力強化)、
泊地(水深10m(暫定))、
航路・泊地(水深9m(暫定))、ふ頭用地
事業期間：2020年度～2023年度

ESG行動計画③ 社会分野に対する主な取り組みとKPIの設定

社会分野での重要課題と解決に向け、開発途上国におけるインフラ整備プロジェクトを年3件以上施工等のKPIを定めました。
また、女性や外国人の採用を拡大し、多様性をひろげていきます。

重要課題	重要指標（KPI）	達成目標
インフラ整備を通じた社会への貢献と共生	防災・減災に資する研究開発の実施件数	5件以上（2020年度参考値）
	快適な都市基盤・環境整備に資する研究開発の実施件数	5件以上（2020年度参考値）
	開発途上国におけるインフラ整備プロジェクトの施工件数	年3件以上
品質の確保・向上	不適合製品の発生件数（土木）	5件以下
	不適合製品の発生件数（建築）	5件以下
顧客満足の追求	顧客満足度評価（官庁、社内指標）	基準点以上
	顧客満足度評価（民間、社内指標）	B以上（A～D評価）
	お客様満足度アンケート調査回収率	90%以上
労働安全衛生の確保	重大災害の発生件数	0件
	重大公衆災害の発生件数	0件
	災害度数率（休業4日以上）	0.70以下
多様な人財の育成と活躍推進	障がい者雇用率	2.3%以上
	女性総合職従業員数（2020年度比）	100%増（2030年度）
	外国人総合職従業員数（2020年度比）	100%増（2030年度）
活き活きと誇りをもって働ける職場環境の構築	時間外労働上限規制達成率	80%以上
	全社員のコンプライアンス意識調査における「従業員満足度」に関する28項目の平均スコア（社内指標）	前年度スコアを上回ること

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定制度で、一定の基準を満たし、女性活躍推進に関する状況などが優良な企業に発行される認定マークである「えるぼし」の☆2を2021年3月取得しました。
今後も女性が活躍しやすい環境整備を推進していきます。



ESG行動計画④ 開発途上国におけるインフラ整備プロジェクトへの参画

当社は開発途上国の港湾整備、洪水対策などのインフラ整備に多数関与しています。

西アフリカの玄関口として機能するコートジボワールのアビジャン港で穀物バースを当社が建設している事例を紹介します。

250m×450mの岸壁を築造し、東京ドーム（約4.7ha）の約2倍の10haを埋め立てる大型工事です。

コートジボワールだけでなく、ブルキナファソやマリといった地域周辺の内陸国で増大するコメなどの穀物需要に対応しており、完成後の域内の物流の活性化が見込まれるプロジェクトです。



その他にも多数、開発途上国における
インフラ整備に参画しています。

当社は、Google Maps Platformの正規契約代理店である国際航業株式会社を通じてライセンス契約をしております。

ESG行動計画⑤ ガバナンス分野、特に不祥事の再発防止への取り組み

ガバナンスについては、第三者による取締役会の実効性評価の実施等をKPIに定めました。

なお、2016年4月に発覚した地盤改良工事の施工不良に対する修補工事は2020年度をもって完成していますが、不祥事を二度と起こしてはいけないという決意に変わりはなく、引き続き信頼回復に向け、再発防止に取り組んでいきます。

重要課題	重要指標（KPI）	達成目標
ガバナンスの強化	第三者による取締役会の実効性評価の実施回数	年1回
リスクマネジメントの強化	重大な情報セキュリティ事故発生件数	0件
	BCP全社一斉訓練実施回数	年1回
	安否確認訓練24時間応答率	100%
コンプライアンスの徹底	重大な法令違反行為の発生件数	0件
	コンプライアンスに関するe-learning受講率	100%
	全社員のコンプライアンス意識調査における「コンプライアンス」に関する18項目の平均スコア（社内指標）	前年度スコアを上回ること

2021年3月～4月にかけて全役員・全社員を対象に修補工事説明会を7回WEBで実施しました。

あらためて不祥事の発生経緯等を説明し、持続可能な企業として継続していくために再発防止への決意をあらたにしました。



社会を支え、人と世界をつなぎ、 未来を創る

Build a prosperous society and connect all the people
over the world for the better future.

私達は、高い技術と人財という礎によって、
社会を支え、人々と世界をつなぐ社会基盤の整備に貢献し、
未来を創造する企業を目指します

〒163-1031

東京都新宿区西新宿 3-7-1

新宿パークタワー 31F

東亜建設工業株式会社

経営企画部広報室 北川 欽一

TEL : 03-6757-3821

FAX : 03-6757-3830

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく
予測が含まれております。
将来の業績は、経営環境等の変化にともない、
この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることを
ご承知おきください。

